



2019/10/01

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

2019年度 第6回

教員研修会 in 気仙沼 報告

2019年9月16(月祝)～18日(水)、今年度の本プログラムの助成校35校の先生方が全国から参加し、被災地・気仙沼市で、東日本大震災の経験と教訓を活かした減災教育について学ぶ教員研修会を実施しました。

各地の学校で減災教育に携わる先生方は、気仙沼市で大きな被害を受けた階上(はしかみ)地区の小・中学校などを訪問し、子どもたちや先生方との対話や授業視察、専門家による講義やワークショップを通して、先進的な減災教育の実践を学びました。研修会での学びは、日本各地で助成校の減災教育の強化に役立てられます。

1日目【9月16日】

気仙沼市 東日本大震災伝承館(震災遺構・気仙沼向洋高校校舎) 視察



減災教育概論 及川幸彦先生(東京大学)



第6回 アクサ・ユネスコ減災教育プログラム
これからの防災教育とは？
災害を乗り越え、生き抜く力を育む減災教育

東京大学大学院教育学研究科 附属 海洋教育センター
主任研究員 及川幸彦 (地球環境学博士)
日本ユネスコ国内委員会 委員
「持続可能な開発のための教育 (ESD)」 日本会議 議長
公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 専務
特定非営利活動法人 SEEDS Asia 理事

2日目【9月17日】

階上小学校 授業視察（小・中連携授業）

「防災タイム」中学生による小学生への授業 視察



中学生や自治会と連携した4年生「防災復興マップを作ろう」授業視察



階上小学校の先生から被災地の経験を学ぶ、質疑応答



気仙沼市の熊谷久恵教諭から防災教育のカリキュラムの開発・活用について学ぶ



4 防災学習シート作成

(1)防災学習マトリックス

防災教育の目的	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
防災教育の目的	防災教育の目的	防災教育の目的	防災教育の目的	防災教育の目的	防災教育の目的
教育目標	教育目標	教育目標	教育目標	教育目標	教育目標
学習内容	学習内容	学習内容	学習内容	学習内容	学習内容
学習方法	学習方法	学習方法	学習方法	学習方法	学習方法
評価方法	評価方法	評価方法	評価方法	評価方法	評価方法
実施時期	実施時期	実施時期	実施時期	実施時期	実施時期
実施場所	実施場所	実施場所	実施場所	実施場所	実施場所
実施者	実施者	実施者	実施者	実施者	実施者
実施回数	実施回数	実施回数	実施回数	実施回数	実施回数
実施時間	実施時間	実施時間	実施時間	実施時間	実施時間
実施費用	実施費用	実施費用	実施費用	実施費用	実施費用
実施効果	実施効果	実施効果	実施効果	実施効果	実施効果



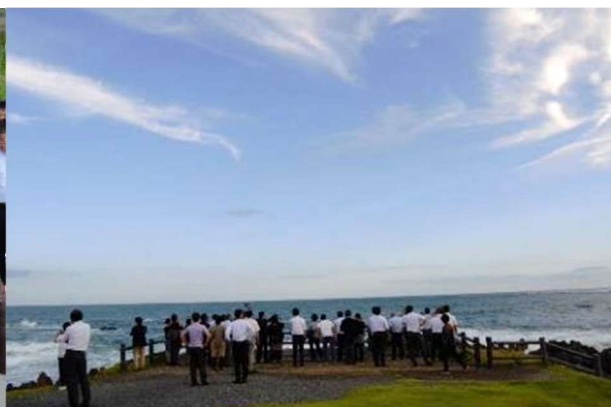
階上中学校 訪問

中学生からの発表、中学生と参加教員との対話



階上地区の杉ノ下慰霊碑 献花

津波が押し寄せた岩井崎の岬にて





災害科学科を有する宮城県多賀城高校の先進実践から学ぶ



3日目【9月18日】

小山敦(気仙沼市教育長)から気仙沼市の学校現場の震災時の対応と復旧・復興について学ぶ



上田和孝先生(新潟大学)から学校と地域・外部との連携について学ぶ

2019年9月18日
アクサユネスコ協会減災教育プログラム 教員研修会

減災教育におけるN助の必要性
～地域や外部とのネットワーク～

上田 和孝

新潟大学工学部・工学力教育センター准教授

- ・ 特定非営利活動法人SEEDS Asia アドバイザー (前副事務局長)
- ・ 任意団体気仙沼防災教育推進委員会 副会長
- ・ 特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター運営委員・理事
- ・ 一般社団法人日本インターナショナル・サポート・プログラム理事
- ・ 認定ファンドレイザー、社会貢献教育ファシリテーター、社会貢献活動支援士





参加型ワークショップ：-3 日間の学びを振り返る

